

特別な支援が必要とする子どもへの支援体制には、幼稚園・保育所・小・中・高等学校等のつながりとともに、学校と教育行政・福祉行政のつながりが必要です。

特別支援教育チーフ・チーフ・Coを核とする中学校区ごとの取組は4年目を迎えるが、各学校がつながり、統一された継続的な支援を目指した検討がなされています。

しかし、中学校と高等学級から「特別支援教育の3者が手をつなぐこと」をめぐる課題がみられます。

学校との連携には、情報共有をめぐる課題があります。中学校への進学に当たり、特別な支援が必要な生徒の情報を円滑に引き継ぐには、県教育委員会からの「特別支援教育の依頼」等を参考する必要があります。

高等学校への進学に当たり、特別な支援が必要な生徒の情報を円滑に引き継ぐには、県教育委員会からの「特別支援教育の依頼」等を参考する必要があります。

特別な支援が必要とする子どもへの支援体制には、幼稚園・保育所・小・中・高等学校等のつながりとともに、学校と教育行政・福祉行政のつながりが必要です。

手をつなぐ、学校と教育行政と福祉行政
～中学校区における特別支援教育の支援体制～

</div